

衆議院議長殿
参議院議長殿

「義務教育の段階における普通教育に相当する 教育の機会の確保等に関する法律案」 について「不登校対策」にかかる部分の白紙撤回を求める請願

一 請願要旨

2015年5月27日、超党派フリースクール等議員連盟・夜間中学等義務教育拡充議員連盟の合同総会が開かれ「多様な教育機会確保法（仮称）案」が提案されてから、「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律案」として継続審議になるまで、登校拒否・不登校当事者や親たち、関係者の賛否は大きく割れ、その懸念の声はますます広がっています。法案の内容も当初の「フリースクール支援法案」から、支援という名の子どもたちを排除する不登校対策法案へと大きく変わりました。

不登校の小・中学生は年間12万3000人以上にのぼります。いじめや体罰などに傷つきながら、追い詰められた子どもたちの自殺は後を絶ちません。不登校は、教育の問題だけでなく、子どもの命にかかる国民的課題です。

文部科学省が不登校の対策をすればするほど、不登校の子どもが増え、命を絶つ子どもも増えています。文部科学省の不登校対策は、不登校の子どもを追いつめています。効果を上げていない施策を法律にする必要はありません。

子どもたちを分断し、差別する「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保に関する法律案」について夜間中学と分けて不登校対策に関する部分の白紙撤回を強く求めます。

二 請願事項

- 1 「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律案について不登校対策にかかる部分の白紙撤回を求める
- 2 夜間中学については、法律を分けて、当事者の意見を尊重し、進めてください

氏 名	住 所

■署名送付先 (最終締め切り 11月19日)

〒168-0063 東京都杉並区和泉3-34-23
子ども相談室「モモの部屋」気付
「不登校・ひきこもりを考える
当事者と親の会ネットワーク」

【取扱団体】

不登校・ひきこもりを考える
当事者と親の会ネットワーク